

Cisco ThousandEyes Enterprise Agent 仮想アプライアンスの特権昇格の脆弱性



アドバイザーID : [cisco-sa-thouseyes-privesc-DmzHG3Qv](#) [CVE-2024-20277](#)
初公開日 : 2024-01-10 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [6.8](#)
回避策 : No workarounds available
Cisco バグ ID : [CSCwi14201](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

仮想アプライアンスのインストールタイプであるCisco ThousandEye Enterprise AgentのWebベース管理インターフェイスにおける脆弱性により、認証されたリモートの攻撃者がコマンドインジェクションを実行し、権限をrootに昇格できる可能性があります。

この脆弱性は、Web インターフェイスでユーザーが行った入力の検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、巧妙に細工されたHTTPパケットを該当デバイスに送信することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は任意のコマンドを実行し、権限をrootに昇格できる可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-thouseyes-privesc-DmzHG3Qv>

該当製品

脆弱性のある製品

公開時点では、この脆弱性はCisco ThousandEyes Enterprise Agentの仮想アプライアンスのインストールに影響を与えていました。

公開時点で脆弱性が確認されている Cisco ソフトウェアのリリースについては、このアドバイザーの「修正済みソフトウェア」セクションを参照してください。最も完全で最新の情報につ

いては、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

シスコは、この脆弱性が以下のシスコ製品には影響を与えないことを確認しました。

- ThousandEyes Docker イメージをインストールした場合
- Docker を使用した Cisco ルータ上の ThousandEyes Enterprise Agent
- ThousandEyes Linux パッケージをインストールした場合

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

修正済みリリース

発行時点では、次の表に記載されているリリース情報は正確でした。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

左側の列にはシスコソフトウェアリリース、右側の列にはリリースがこのアドバイザリに記載されている脆弱性の影響を受けるかどうか、およびこの脆弱性に対する修正を含むリリースが示されています。

Cisco ThousandEyes Enterprise Agent リリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)
0.233 以前	0.233.2

Cisco ThousandEyes Enterprise 仮想アプライアンスで Ubuntu Linux サーバーが実行され、無人アップグレードパッケージがデフォルトでインストールされているため、すべての重要なセキュリティ修正が自動的にインストールされます。無人アップグレードには、インターネットと

Ubuntu リポジトリへのアクセスが必要です。

Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正されたリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

出典

この脆弱性は Cisco TAC サポートケースの解決中に発見されました。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-houseeyes-privesc-DmzHG3Qv>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2024-JAN-10

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。